

“ドライバーの緊張感を高めるための一声を”

## ～無事故で年末 笑顔で新年～

緊張感の欠如に起因する事故をなくすため、10月以来2か月に亘り8回の運行管理者向け『臨時安全情報』を配信してきました。お蔭様で事故の発生は落ち着いてきましたが、“まだまだ”というのが実情です。

全員が、無事故で明るい新年を迎えるためには、運行管理者の笑顔で気さくな、ポイントを捉えた一声が大切です。引き続き、ドライバーの緊張感を高め、持続させるための“一声”を掛け、ドライバーの士気高揚や安全運転に繋げていただくようお願いいたします。

### <声掛けのポイント>

#### 運転面

- ・トラックの「高さ」「幅」「長さ」「内輪差」「視界」等、構造上の特性を再認識
- ・「だろろ運転」から「かもしれない運転」の徹底
- ・後退時は、機器に頼らず、下車して目視で安全確認

#### 健康管理面

- ・ドライバーの顔色、口調、態度等から体調を確認
- ・持病薬や風邪薬等の服用を確認
- ・運転中、疲れや眠気を感じたら、早めに短時間でも休憩をとるよう指導
- ・運転中、体調不良になった場合は運転を中止し、会社への連絡を行うよう指導

#### 心理面

- ・時間に余裕をもって早めの出発
- ・出発前や走行途中に、カーラジオ等で道路情報や気象情報の収集
- ・延着予想時は、運行管理者に連絡するよう指導

#### 法令等の遵守

- ・車間距離は長めに確保
- ・早めの合図(3秒、30メートル)で、自己車両の動きを伝達
- ・急発進、急ハンドル、急ブレーキの厳禁
- ・交通弱者(歩行者・自転車・二輪車)の保護
- ・構内ルールの厳守